

第21回 日本教育カウンセリング学会 研究発表(岩手県立大学)大会

開催要項(2次案内)

◆◆◆ 大会テーマ ◆◆◆

多様な個性を育む教育カウンセリング
—お互いの存在価値を認め合う集団づくり—

会 期/2024(令和6)年 **9月28日(土)・29日(日)**

会 場/岩手県立大学アイーナ・キャンパス
アイーナ(いわて県民情報交流センター)

主 催/日本教育カウンセリング学会

共 催/岩手県教育カウンセラー協会

後 援/文部科学省(予定)

岩手県教育委員会

盛岡市教育委員会

滝沢市教育委員会

多様な個性を育む教育カウンセリング

—お互いの存在価値を認め合う集団づくり—

日本教育カウンセリング学会 理事長

早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授

河村 茂雄

不登校の小中学生は、10年連続の増加で30万人に迫っている。小学生の不登校は10年前の約5倍、中学生は約2倍に増加している。不登校に至る主な要因は近年固定していてその過半数が「無気力、不安」である。このような状況の基底には、文部科学省(2011)が指摘してきた以下のような、現在の児童生徒の実態が改善されていないと考えられる。

- ・自分の思いを一方向的に伝えているにすぎない
- ・相互理解の能力が低下している
- ・同意見や反対の意思を伝えるだけで対話になっていない
- ・同質的なグループや人間関係のなかでしか行動できない
- ・異質な人々によるグループで課題解決することが苦手回避する

以上のような状況は、現代の子どもたちの多くが、非認知能力の形成が不十分になっていることが想定され、さらにコロナ自粛の3年間でこの傾向に拍車がかかったようである。2023年度の学会関連の研究会では、コロナ自粛後の学校現場での様子として、以下のような報告がなされている。

- ・学級内では生徒たちは小グループで固まり、他のグループの子たちとは交わらない
- ・内輪の友だち同士で、その場を軽いノリで過ごし、物事も進める
(不安のグルーピングも多く、グループの仲間とは同調傾向や過剰適応のようである)
- ・学級集団の一員という意識が乏しく、学校行事でも内輪で楽しむ
- ・学級内に無気力になっている児童生徒が一定数いる

★通信制高校を希望する生徒が増えている

つまり、文部科学省(2011)が指摘した問題の改善を目指して取り組まれてきた「主体的・対話的で深い学び」の教育実践の取り組みは、成果が乏しいどころか、さらに退行してしまったような感がある。

協働的な学びが成立するためには、多様性と個性が受容され尊重される人間関係の基盤が必要となるが、そのような人間関係の基盤を形成していくこと自体がとても難しいレベルになっており、学級集団づくりもとても難しいのである。

このような状況の時期に、この問題に正対して、「多様な個性を育む教育カウンセリング—お互いの存在価値を認め合う集団づくり—」をテーマに、本学会の第21回研究発表(岩手県立大学)大会を開催できることは、タイムリーである。この問題を生涯発達の視点から、学校教育の実践の中で考えてみたいのである。

今大会も、教師やカウンセラーから大学教員になったメンバーたちがリーダーシップをとり、現職やOB・OGの教師たちやカウンセラーを主とした岩手県教育カウンセラー協会の会員さんたちが担当し、対面形式が主となるように運営してくれている。多様な人々との直接的な交流から、新たな学びが生まれることを期待している。

本学会の活動が、現在の学校教育の様々な問題への対応に貢献できる、と確信している。今年も、「リサーチが実践を支える」、それを実感できる大会になることを願っている。

1 大会日程・内容

第1日目：9月28日(土)

9:15 ~	受付
9:30 ~ 11:40	自主シンポジウム
11:45 ~ 13:00	昼食休憩
13:05 ~ 13:20	開会式・表彰(アイーナ812)
13:25 ~ 15:00	記念講演会(アイーナ812) 「多様性がいきる協働の学びがある学級集団 -エージェンシーに注目して-」 講師 河村 茂雄(早稲田大学教授・日本教育カウンセリング学会理事長)
15:15 ~ 17:10	口頭発表(8会場) 発表:25分(質疑応答を含む) ・研究発表(オープン) ・事例発表(クローズ)
18:00 ~ 20:30	情報交換会(アートホテル2階 鳳凰の間)

第2日目：9月29日(日)

9:00 ~	受付
9:15 ~ 10:45	ポスター発表:一人 45分間
11:00 ~ 13:00	公開シンポジウム(実行委員会企画)(アイーナ812) テーマ「多様な個性を育む教育カウンセリング」 総括討論者: 河村 茂雄(早稲田大学教授・日本教育カウンセリング学会理事長) コーディネーター: 大久保 牧子(岩手県立大学 准教授) 話題提供者: 大学教育での実践 本田 真 先生(名古屋産業大学 准教授) 中学校教育での実践 木嶋 葉子 先生(神栖市立神栖第四中学校 養護教諭) 小学校教育での実践 木村 佳穂 先生(栃木県 スクールカウンセラー) 幼児教育での実践 浦和 和子 先生(社会福祉法人シオン会理事長 認定こども園 長野大橋保育園)
13:00 ~ 13:05	閉会式

<詳細日程>

■自主シンポジウム 9月28日(土) 9:30~11:40

第一会場 アイーナキャンパス学習室1

対話的・協働的な活動で非認知能力を育てる

—エンカウンターによる新しい学びの方向を探る—

- 企画者: 水上 和夫 (対話のある授業みらい研究所 所長)
司会進行者: 島田 昌美 (対話のある授業みらい研究所 副所長)
指定討論者: 大友 秀人 (NPO日本教育カウンセラー協会 副会長、元北海商科大学 教授)
吉澤 克彦 (新潟県立大学 非常勤講師、元新潟大学教職大学院 教授)
シンポジスト: 村井 加代子 (石川県教育委員会 スクールカウンセラー)
高島 英公子 (高岡市立伏木小学校 教諭・教務主任)
佐藤 寛子 (富山市立萩浦小学校 校長)

第二会場 アイーナキャンパス学習室4

「チーム学校」実現のために

—解決志向チーム会議の導入と定着—

- 企画者: 小川 千里 (会津大学 上級准教授)
司会進行者: 小川 千里 (会津大学 上級准教授)
指定討論者: 神保 しげみ (沖縄教育カウンセラー協会)
苅間澤 勇人 (会津大学 教授)
小川 千里 (会津大学 上級准教授)
シンポジスト: 仲村 幸子 (沖縄県公立小学校 教諭)
内野 博之 (栃木県公立小学校 教諭)
山田 まり子 (青森県教育委員会 スクールカウンセラー)
佐藤 好江 (新潟県公立中学校 教諭)

第三会場 アイーナ702

支部活動を軸とした自発的(自分の現場・地域)活動の在り方 PartⅢ

～自発・能動的学びから「現実の変革へ」各専門分野での活躍～

- 企画者: 真鍋 孝徳 (民間企業の顧問 教育担当)
司会進行者: 真鍋 孝徳 (民間企業の顧問 教育担当)
指定討論者: 加勇田 修士 (東星学園教育顧問 元早稲田大学客員教授)
シンポジスト: 藤原 雅江 (公立中学校 養護教諭)
上田 明美 (市立大学 非常勤講師)
木津 宜之 (私立専門学校高等課程 教諭)
真鍋 孝徳 (民間企業の顧問 教育担当)

第四会場 アイーナ703

子育て支援教育カウンセラーの可能性

- 企画者: 吉田 ゆかり (札幌保健医療大学 非常勤講師 北照高等学校 スクールカウンセラー)
司会進行者: 穴水 ゆかり (拓植大学北海道短期大学 准教授)
指定討論者: 富田 久枝 (千葉大学 名誉教授)
シンポジスト: 中村 厚喜夫 (帯広市帯西幼稚園 園長)
伊藤 益子 (あそび〜の下井草代表 こどもと笑顔with代表
特定非営利活動法人杉並冒険あそびの会 理事)
影山 世都子 (岡山学院大学 講師)

■口頭研究発表 9月28日(土) 15:15~17:10

発表時間/①15:15~15:40 ②15:45~16:10 ③16:15~16:40 ④16:45~17:10

※事例発表は、クローズドで行われます。参加される方は、発表の途中では退室できません。発表資料は、分科会会場受付簿に氏名・所属を記載された参加者のみに限定配付され、発表後、すべて回収します。
 ※各発表の開始時間について、多少前後する場合がございます。あらかじめご了承ください。

第一会場	【研究発表】		アイーナキャンパス学習室1
	①	米原拓哉	「日本版解決志向のクラスづくり完全マニュアル」に基づく実践 -小学校担任による実践-
	②	伊藤博	A中学校全校生徒(同時進行による)「数学教え合い学習」 -自己肯定感を高めるために-
	③	松浦賢一	協同の原理を活かした中高生の非認知能力の醸成を図るリーダー養成プログラムの開発 -社会参画の意識を高める地域の課題解決学習の実践から-
	④	高橋昌子	「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム」実践報告 -学校現場に資する支援活動とは-
第二会場	【研究発表】		アイーナキャンパス学習室2
	①	柳瀬啓史	学校OJTに活かす教育カウンセリングの理論と手法II -若年教員の自立的成長を支える2年目の取り組み-
	②	伊佐貢一	教育力が高い教員組織を形成する教員の意識 -小学校における学校体制の親和的な学級集団育成を通して-
	③	伊藤友彦	教員のICT機器活用に関する意識調査 -タブレットSGEの普及に向けた基礎調査2-
	④	七海千加	自主学习サークルで教師が育つ -「こもればの会」の記録と教員の学習サークルの意義-
第三会場	【研究発表】		アイーナキャンパス学習室3
	①	足立智子	大学初年度の専門科目概論におけるSGE導入の試み
	②	吉川正剛	Courage to beの精神を培う大学生キャリア教育授業の試行 -江橋照雄「手品師」の文章を用いて-
	③	神崎秀嗣	教育カウンセリングを導入したインストラクションデザインの効果について
	④	和泉光則	大学理工系実験実習に心の教育を織り込む試み -社会・産業を支える人々の“想い”の教材化-
第四会場	【研究発表】		アイーナ814
	①	松下真治	生徒理解を深めるためのリソースをどのように集め、活用するか?
	②	丹藤美津子	不登校から教室復帰をめざしたチーム支援
	③	小川千里	解決志向チーム会議に関する研究と普及活動に基づく試論 -「チーム学校」のためのコンサルテーション・ターゲットの探索-
	④	住沢佳子	虐待を受けている児童生徒の教員による早期発見 -人型シールPSS(Person-Shaped Stickers)による家族関係理解-
第五会場	【研究発表】		アイーナ815
	①	真鍋孝徳	企業の人財育成に挑戦する教育カウンセリングの可能性
	②	勝田拓真	学校経営に生かす校長の対話力
	③	石丸裕士	新任・中堅初期中学校教員の理解と支援
	④	渡部昌平	目標達成の成功事例・失敗事例を想起することによる目標達成意欲の向上に関する研究
第六会場	【研究発表】		アイーナキャンパス学習室5
	①	粕谷美喜江	「どの子ども大切にされる学級づくり」をめざして -インクルーシブ教育システムについて考察する-
	②	江藤和彦	A児が友だちと共に生き生きとした姿になるための援助
	③	吉田圭子	子どもの姿の背景を理解した支援 -子どもと保護者、教師との信頼関係の形成-
	④	長谷川伸大	新入生への教育相談ガイダンス実施例
第七会場	【事例発表】		アイーナ816
	①	吉田武史	衝動的な暴力行為がみられる児童へのチーム支援
	②	佐藤寛子	援助資源を活用して進める再登校へのチーム支援
	③	城間智	チーム支援を支える教育委員会の役割 学校に専門職をどうつなげるか
	④	井桁明美	貧困家庭に対する家族支援の在り方(家庭児童相談員としての関り)
第八会場	【事例発表】		アイーナ817
	①	勝田みな	教員のウェルビーイング確保をめざして -ミドルリーダーへのキャリアカウンセリングからわかること-
	②	川口妙子	外国にルーツを持つ子どもへの心理的教育的支援とは -覚えた文字と言葉を使ってSGEができるようになるまで-
	③	竹内由加子	ナラティブアプローチ・対処主体的アプローチから母子関係が改善された事例
	④	山田まり子	適応指導教室スタッフへの研修

■ポスター発表 2日目 9月29日(日) 9:15~10:45

アイーナ702	1	田上幸雅	中学生のグリッド・増大的知能観と、学校生活意欲・学級満足度との関連の検討
	2	深沢和彦	認め合い活動における発信数および受信数と学級適応感との関連の検討 -帰りの会の「よいところさがし」の記録から-
	3	水野邦夫	SGE参加者の感情変化パターンと心理的成長感の関連 -1日研修方式での実施をもとに-
	4	吉田ゆかり	ハイフレックス&タブレットを活用したスペシフィックSGEアドバイザー養成研修の実際 -Part1-
	5	米川純子	SGE体験が及ぼす自己開示と自己呈示の関連性 -ピアヘルパー養成の取り組み-
	6	小川千里	学校教員のキャリア開発の意義 -人生すごろく「金の糸」を用いた教育分析への誘い-
	7	木村佳穂	集団に適した構成を考える効果について -ゆるみの見られる学級集団への実践-
	8	丹羽友佳	大学授業でのSSTとSGEを活用した短時間グループアプローチの実践
	9	森俊博	集団ソーシャルスキルトレーニングによるソーシャルスキルに対する自律的な動機づけへの影響
	10	藤原寿幸	学級じまいにおける小学校教師の指導行動
	11	井口武俊	授業における意欲を引き出す学習課題とその展望 -協働的な学びに適した学習課題の方向性-
	12	富永香羊子	総合的な学習の時間における小学校教員の指導に関する一考察 -教員の学習経験の有無に着目して-
	13	神崎秀嗣	VR空間を用いた教育カウンセリングの可能性
アイーナ703	14	藤田道子	地域で行うキャリア教育の有効性について -大口子どもカレッジを通して-
	15	谷戸玲子	若手教師への自律性支援 -予見段階に注目した説解方略の実践-
	16	森永秀典	小学校教師の指導範囲意識と職場風土に関する認知との関連
	17	牧野絃子	競泳競技のアスリートにおける悲観主義者の検討 -防衛的悲観主義群と無気力的悲観主義群に着目して-
	18	児島夕海	居場所へのコミットメントを介在要因とした見捨てられ不安と自己受容の関連の検討
	19	平宮正志	大学での読書感想文を課題とした実践 -読書カウンセリングの視点をふまえて-
	20	仲里直美	中学校におけるチーム支援を促す教育相談コーディネーターの取り組み -チーム支援会議を通して-
	21	高橋 幾	不登校傾向のある高学年児童の学級適応感に関する縦断的な検討
	22	田爪宏二	保育者養成短期大学生の認知的個性が実習前の不安に及ぼす影響： 実行機能の「自己意識」と「注意維持の困難さ」に着目して
	23	今井香凜	被虐待児童生徒への養護教諭の気づきと支援の実態
	24	及川莉那	学校不適応問題児童生徒への養護教諭が行うアタッチメントの支援と課題
	25	生貝博子	公立小中学校50代と60代のワーク・エンゲイジメントの実態と関連要因の検討 -自主・向上性と同僚・協働性に着目して-

2 大会参加申込

(1) 参加費

項 目		事前申込み	当日申込み	備 考
大会参加費 (論文集1冊を含む)	学会員	6,000	7,000	
	非学会員	8,000		
	学生・院生	3,000		
記念講演・公開シンポジウム のみの参加費	非学会員	2,000	3,000	論文集は含みません (論文集:2,000円)
情報交換会	申し込み者	7,000		申し込み締め切り日 2024年8月30日(金)

(2) 参加申込方法

	締 め 切 り	方 法	払 込 先
大会参加 申し込み	参加申し込み締め切り 2024年9月6日(金) 入金期限 2024年9月6日(金)	下のQRコード、または、 学会HPより、研究発表大 会の「参加申し込みフォー ム」からお申し込みくださ い。	振込口座:岩手銀行 菓子支店 種 別:普通 口座番号:2128478 名 義: 日本教育カウンセリング学会 第21回研究発表(岩手)大会 事務局長 大久保牧子
情報交換会 申し込み	参加申し込み締め切り 2024年8月30日(金) 入金期限 2024年9月6日(金)		

※参加申込は、Google フォームのみです。ご注意ください。

※9月6日(金)以降に申し込まれた方は、参加費は、当日、受付でお支払いください。

【日本教育カウンセリング学会HP】

<http://jsec.gr.jp/>

【参加申し込みフォーム】

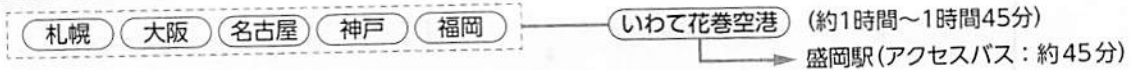


■会場へのご案内

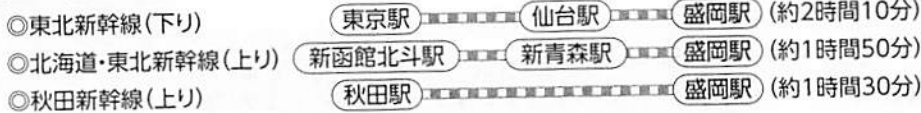
アイーナ(いわて県民情報交流センター) 〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号
JR盛岡駅から徒歩4分



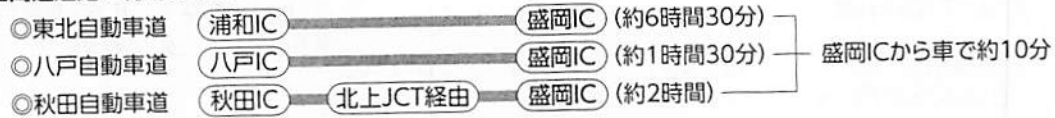
■空路ご利用の場合



■JRご利用の場合



■高速道路ご利用の場合



■近隣駐車場(有料)

- 盛岡駅西口地区駐車場/盛岡市盛岡駅西通一丁目1番5号(アイーナ東側向かい)
- マリオス立体駐車場



【参加申込についての問い合わせ先】

第21回 日本教育カウンセリング学会研究発表大会 事務局

E-mail : 2024iwatejsec@gmail.com